

講義名	ヒューマンリレーション論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	西尾 範博		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限 / 後期 金曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	53027

主題と概要

この授業は、実際にどこかで起きた人間関係上の出来事を記したケースを取り上げ、毎日がディスカッションの連続となる。毎回、個人学習、グループディスカッション、クラスディスカッションというプロセスを経て、自己理解や他者理解を深めながら、人間関係に不可欠な知識とスキルを身につける。

到達目標

実際にどこかで起きた人間関係上の出来事を記したケースを使って、自らの考えや感情を表現するとともに、ほかの人の考えや感情に耳を傾ける力を高める。ケースという他人事についてディスカッションする過程で、自己理解や他者理解を深めるながら、人間関係に不可欠な知識とスキルを身につける。問題を発見する力、分析する力、解決する力を高める。

提出課題

毎回の授業内容に基づく課題に関するレポート(1,100~1,200字)の作成を課題とする。

評価の基準

レポートによる評価(全体の40%)と授業への参加状況や貢献度(60%)をもとに評価する。期末試験は行わない。なお、授業に出席してもレポートを期限通りに提出しないことや授業に欠席してレポートだけを提出するのは認められない。いずれも欠席として扱われるので注意すること。

履修にあたっての注意・助言他

二週に一度のペースで一回あたり2コマ連続の開講。毎日がディスカッションの連続となるので、学生一人ひとりの積極的な参加と貢献が不可欠となる。そのためには体調を整えて出席し、熱心に取り組むようにすること。留学生については、N1レベルの日本語能力を有しているほうが望ましい。授業に出席しても受講態度が良くない学生やレポートが未提出の学生は出席回数に関係なく評価の対象外となる。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に随時プリント資料を配布し、参考文献を紹介する。

授業計画

1. 授業概要の説明
2. ケース・ディスカッションの試行
3. コミュニケーション・ゲーム(1)
4. コミュニケーション・ゲーム(2)
5. ケース1に関するディスカッション(1)
6. ケース1に関するディスカッション(2)
7. ケース2に関するディスカッション(1)
8. ケース2に関するディスカッション(2)
9. ケース3に関するディスカッション(1)
10. ケース3に関するディスカッション(2)
11. ケース4に関するディスカッション(1)
12. ケース4に関するディスカッション(2)
13. ケース5に関するディスカッション(1)
14. ケース5に関するディスカッション(2)
15. 全体のまとめ

予習・復習

毎回の授業内容に基づく課題に関するレポート(作成4時間)をもって復習とし、また次回の授業に臨むための予習とする。

備考